

医労連共済 加入拡大・推進ニュース 第30期

2019年06月17日発行 / 日本医労連共済事業局

No.21

“四国の医療・福祉で働く女性の集い”に92名



◇岡村名誉教授より「南海トラフ地震に備えて」～ 医労連共済をアピール

5月25日～26日、高知県「かんぼの宿伊野」にて、四国地方協女性委員会が主催する「四国の医療・福祉で働く女性の集い」が、29組織92名が参加して開催されました。

四国地方協・鎌田圭美女性委員のあいさつに続き、「迫りくる南海トラフ地震に備えて」と題し高知大・岡村眞名誉教授が記念講演に立ちました。

続いて、医労連共済からは「共済・地震特約」について、及び「自動車共済」について説明が行われました。2日目は寺園道江・女性協事務局長が「女性の権利・パワハラ問題」について講演を行い、前日の夜の懇親会にはJCHO高知・西支部の参加者によるフラメンコが披露され、会場が大いに盛り上がりました。(写真：右上)

佐賀県医労連 介護職場での組織・共済の拡大を！



佐賀県医労連は5月29日、『佐賀県医労連・介護組織拡大』説明会を行い、県内の介護施設や個人加盟組合から介護職員10名が参加しました。

医労連共済からは瀧川次長が「介護に笑顔と希望を」「医労連共済って」と題し、介護現場の今後の展望、医労連共済のメリットについて説明しました。

会議に参加した、県内2施設40名ほどの職員が働く介護施設で、新組合を結成しました。そこでは、施設が組合員への福利厚生費として共済掛金の一部を補助することになっています。いま、すべての働く仲間を組合に呼びかけるために、共済説明会を何度も開催しています。

医労連大会へ向け、共済推進で仲間づくりを広げよう！